

◆2017年の活動から

(1) 食べるたいせつフェスティバル

2017年9月23日(土)、24日(日)の2日間、日本工学院北海道専門学校で、生協主催で開催された子どもの食育のイベントに参加しました。自然体験のコーナーに、パネルの展示、ドジョウなどの水槽をならべました。見て、さわってもらい、クイズなどでも大勢の子ども達と楽しみました。

(2) ビオトープ～15年をつたえる・つなぐ道しるべ～

2018年1月30日(火)～2月10日(土)市民活動センター展示ギャラリーでのパネル展示に参加しました。発足して15年、出発の時の強い志と賛同してくださった多くの方たちの支えで、ここまで育てられてきました。

イタンキに定着した沢山の水辺の生物、子ども達の体験学習の様子など、パネル写真を50枚ほど展示して、つたえる、つなぐ思いを表しました。

<感想から>

- ・イタンキの自然すばらしいです。これからも頑張ってください。
- ・こんなに自然があるなんて知りませんでした。寒さが緩くなったら、行ってみたいです。
- ・室蘭にもこんなに自然があったなんて。これからも残して行ってほしいと思います。
- ・京大の河野昭一先生も大変期待されていた(ビオトープ10周年に記念講演をしていただいた)事を思い出します。もういらしていただけないのが残念です。自然をこよなく愛されていた先生の分もがんばってください。
- ・トンボの羽化など、なかなか見られない写真すてきです。子ども達の学びには、とても良いところです。ボランティアの活動ご苦労様です。

.....

たくさんの励ましをいただきました。

(3) 市民活動ミュージアム2017

2017年10月14日(土)、15日(日)の2日間モルエ中島イベントスペースで開催された市民活動ミュージアムに出展したビオトープ・イタンキのコーナーには、人気の目玉があります。ひとつは水生生物、もうひとつは蝶・幼虫。水槽で泳ぐ魚類を見ると「あっ、メダカ！」という声が必ず聞こえます。たまに「トンギョでしょ？」と正解もあります。私自身この会に所属していなければ、トミヨ・エゾホトケドジョウ等々知らなかったはず…おそらく「この魚はゴリ？」と言ったかと(笑)

今回の人気者はアゲハの幼虫三種類。色や形が少し違って、その3cmほどの可愛らしさに魅了されます。「これ、なあに?」「どこにいるの?」山椒の葉に隠れた幼虫に、おとなも子どもも興味津々。

その中で3才位の男の子が、とても嬉しそうに見入っていました。目を輝かせながら、なかなかその場を離れません。なんと一時間以上も同じ所で! 凄い集中力! 将来が楽しみです。

見学者の中には「～アゲハ、飼っています」と、詳しい子どもやお母さんも数人いました。展示会の度に『ビオトープ・イタンキ』の存在が、少しずつ広がっているように感じます。

生き物に関心を持ち、何だろう?と思う人たちが増えたら、嬉しい限りです。